

2026年3月16日開催

第1回コンテンツ戦略WG・第1回クリエイティブ戦略TF合同会議提出資料

東京大学 柳川範之

取引・就業環境整備

- 適切な実態調査とそれに基づく**ガイドライン作成**は有効な手段

その際、以下の点への対処が必要

不十分・不明確な契約による後出しじゃんけ的な対応の防止

極端な交渉力格差による取引価格の歪みの排除

硬直化した取引慣行の実態に合った改訂

- 構造的な人手不足、生成AIの進展、海外プレイヤーの参入等により、今後実

態が大きく変化する可能性。それに柔軟に対応できる取引構造、取引慣行の構

築が急務

- 本来、コンテンツ産業は成長分野。その**成長の果実が各レイヤーに適切に配**

分される契約構造をつくっていくことが、業界の発展に不可欠。

- それには今の実態に基づくガイドラインだけではなく、**将来を見据えたある**

べき取引・契約構造の検討・構築も重要なのではないか。

- その際には、

人材の積極な参入を促すこと

人材育成・教育を適切に進めること、

省人化できるところ見極めること

生成 A I の発展に伴う構造変化に対処すること

が必要。

海賊版対策の強化

- 適切な執行体制を国際的に協力しながら、構築していくことが必要**
- 狭義の海賊版対策だけではなく、より幅広い形で、著作権の適切な保護への**
対処を考えていくべきではないか。
- 民間団体、権利者企業等との連携は有効ではないか**
- 特に生成 A I 関連の実態は民間でないと素早く把握でないものも少なくない。**
- より柔軟かつ迅速に、変化に対処するための工夫が必要。**